

「ILDにおける pre-capillary PH と post-capillary PH の比較」に関する公示

肺高血圧症(PH)は、様々な要因で起こるとされています。例えば、心疾患を持つ患者さんや、間質性肺炎(ILD)を含めた呼吸器疾患を持つ患者さんに合併することがあります。PHを持つILDの患者さんを調査した過去の研究では、心疾患を合併した方を除いて調べていることがほとんどですが、心臓の合併症を持つILDの患者さんが少なからず存在するのが実際です。PHを合併したILDの患者さんの中で心臓の合併症の有無で特徴や寿命に違いがあるかどうか、分かっていません。今回、心疾患によるPHの指標である肺動脈楔入圧(左心房に加わる圧)が15以上の集団と15以下の集団で分けた場合に、PHを持つILDの患者さんの長期寿命に違いがあるか検討する研究を計画しています。

2007年5月～2015年12月までに当院で右心カテーテル検査を行ったILD患者さんの診療情報を収集して解析を行います。この研究では、集計・解析に際して匿名化して情報を取り扱い、対象者の個人情報を厳重に保護しています。上記に該当する方で、この研究についてのご質問や研究協力の拒否を希望される方がございましたら、お手数ですが公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科医師・寺町涼（電話 0561-82-5101）までご連絡いただければ幸いです。

研究責任者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科部長 近藤 康博

研究協力者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科医長 寺町 涼